



ハトダヨ
2018年
8月号

函
館
市
中
央
図
書
館

編集・発行 函館市中央図書館 指定管理者 TRC 函館グループ

〒040-0001 北海道函館市五稜郭町 26 番 1 号

TEL (0138) 35-5500 FAX (0138) 35-5525

市 中 央 図 書 館 だ よ り

第28号 平成30年8月2日 発行

予約ランキング

図書館でたくさん予約が入っている本は何か、みなさんにご存知でしょうか。
ランキングを参考に読みたい本を探すのも一つの方法です。
ご予約は図書館の窓口、またはインターネットからどうぞ。

＼平成 30 年 7 月 1 日現在、予約回数の多かった本をご案内しています／

1 魔力の胎動	東野 圭吾／著	11 ラブラスの魔女	東野 圭吾／著
2 おらおらでひとりいぐも	若竹 千佐子／著	12 おまじない	西 加奈子／著
3 かがみの孤城	辻村 深月／著	13 銀河鉄道の父	門井 慶喜／著
4 棲月	今野 敏／著	14 カットバック	今野 敏／著
5 未来	湊 かなえ／著	15 青くて痛くて脆い	住野 よる／著
6 盤上の向日葵	柚月 裕子／著	16 オンナの奥義	阿川 佐和子／著
7 屍人荘の殺人	今村 昌弘／著	17 おもかげ	浅田 次郎／著
8 あやかし草紙	宮部 みゆき／著	18 凶犬の眼	柚月 裕子／著
9 大家さんと僕	矢部 太郎／著	19 剣と十字架	佐伯 泰英／著
10 路上のX	桐野 夏生／著	20 刑事の怒り	薬丸 岳／著

イベント告知

8 月は 2 回の「郷土の歴史講座」を開催します。テーマは石川啄木と、道南・八雲を舞台とした名作「コシャマイン記」（鶴田知也／著）についてです。ぜひどちらもご参加ください。

公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団創立 30 周年記念
文学館開館 25 周年記念「石川啄木講座」

「啄木と智恵子～オーロラの友情～」

日時：平成 30 年 8 月 18 日（土）
14：00～16：00（13：30 開場）
場所：函館市中央図書館 視聴覚ホール
講師：山本玲子氏（啄木ソムリエ）
参加料無料/事前申込制（定員 150 名）
申込み・問合せ：函館市文学館（☎22-9014）

第 47 回 野間読書推進賞受賞記念
函館朗読紀行 VOL.12 第 3 回芥川賞受賞作

「コシャマイン記～今甦る先人の声が魂が～」

日時：平成 30 年 8 月 23 日（木）
13：30～15：30（13：00 開場）
場所：函館市中央図書館 視聴覚ホール
朗読：函館朗読奉仕会、やくも朗読サークル
参加料無料/申込不要（定員 150 名）
問合せ：函館朗読奉仕会 末永玲子（☎55-5316）

ハトダヨにしか
載っていない！

ぜひ読んでみてください！

スタッフのおすすめ本

タイトル：「日本の洋食」

棚：A13～A15
請求記号：383.81 7才

著者：青木 ゆり子 出版社：ミネルヴァ書房（2018年5月）

カレーライスやスパゲッティ、オムライスなど、海外が発祥の食べ物でありながら日本で独自に発展してきた「洋食」。この本では、各地の風土や食材とともに発展し、日本の食文化を形づくってきた洋食のルーツから、日本の歴史や文化を紐解いていきます。

私たちが暮らす函館も洋食文化を育んできた土地のひとつです。家庭料理としては登場する機会が少ない「ロシア料理」ですが、函館とはとても密接な関わりがありました。

日本の洋食、味も歴史も奥が深いです。

タイトル：「校閲記者の目」

棚：A22～A24
請求記号：810.4 コウ

著者：毎日新聞校閲グループ 出版社：毎日新聞出版（2017年9月）

新聞に使われている文字や言葉、記事の内容は正しいもの。そんな読者にとっての当たり前を守り続ける「校閲記者」が、日々の業務で見つけた間違い事例を一挙紹介。言葉のセンスを磨くためのコツや、あらゆるミスを見逃さないプロの技術を伝授します。

新聞制作を陰で支える校閲の仕事を知ると、毎日何気なく読んでいる新聞の見方が変わるかもしれません。

タイトル：「いつもの自分が
やらないほうをやってみる」

棚：A4～A6
請求記号：159 トリ

著者：鳥居 ミコ 出版社：サンマーク出版（2018年1月）

「大根くださ〜い」のテンションで言いたいことを言ってみると、何だか暗い言葉も明るく感じます。ちょっと辛い時や疲れた時に試してみると笑えるかもしれません。

いつもやらないほうの自分を試してみると、心が軽くなったり、新しい自分が発見されたり、楽しいことがおこる気がします。

目次を読んで気になったらページを開いてみてください。

館長随想（二十八）



学校が夏休みになり、図書館でも朝から小中学生の姿を見かけるようになりました。しかし、彼らの姿がめつきり増えるのは、毎年八月も十日くらい過ぎた頃からです。夏休みの宿題を、追い込みで一所懸命な様子を見て回ると、もうちよっと早くから頑張っていれば楽だったのと思いますが、そういう私も休みの終盤慌てていた一人です。

夏休みの課題で、昔から一様に苦勞するのが自由研究です。自分でテーマを決めて、手順も考えるというのは、普通の勉強ではないことです。世の中に出るとテーマを与えられることばかりではありませんから、小中学生時代、毎年夏休みだけでも自由研究を行うのは、社会人になるためには必要なことです。とはいえ、夏休み中フロアを歩いていると、自由研究のテーマ探しをしている親子をよく見かけます。中にはお母さん一人であって、うちの子にどのような事をやらせればいいでしょう、と言う人もいました。できればお子さんと来てもらいたいものです。

自由研究のテーマが見つからない人にとって、図書館は強い味方です。あらゆるテーマの本がありますから、どんなことにも対応します。肝心のテーマが決まらないという人は、思い切って図書館員に相談してください。役に立つアドバイスが出来るように、日頃から努めています。

図書館で自由研究をした人は、「調べる学習コンクール」に出品しませんか。良い研究は、全国コンクールに進み、文部科学大臣賞受賞だって夢ではありません。挑戦してみませんか。

デジタル資料館 紹介



蝦夷島奇観 卷6
(1810633048-003)



蝦夷島奇観 附録並増補
(1810668481-008)



蝦夷島奇観 前編
(1810632974-011)

当館所蔵の「蝦夷島奇観」に描かれた箱館を集めてみました。デジタル資料館で比べてご覧いただけます。

ともしび号だよ



Vol.3

移動図書館クイズ!! ～あなたは何問解けますか?～

はじめに右の点線を折る、または隠してからスタートです!!

問1:「ともしび号」の名づけ親は誰でしょう。

- ①一般公募 ②当時の館長 ③当時の市長

問2:現在運行しているともしび号は何代目でしょう。

- ①3代目 ②4代目 ③5代目



問3:運行中スタッフが出会ったことのある動物全てに○をつけましょう。

リス 猿 キツネ たぬき 鹿 パンダ 熊

問4:以前ともしび号到着時にかけていた曲はなんでしょう。

- ①ドレミの歌 ②おうまのおやこ ③函館讃歌

問5:下の写真はそれぞれどのステーション(停車場所)でしょう。



A ()



B ()



C ()

ヒント!

北美原町会館筋向 臼尻会館
戸井西部総合センター 青柳中学校
から選びましょう!

注意:ひとつはダミーです。



問6:あなたの自宅から一番近いステーションはどこでしょう。

()

問1答:①

54名の市民から様々な名前が寄せられ、「ともしび号」になりました。

問2答:②

昭和49年に配本車ともしび号が配置され、その後昭和54年、平成3年、平成17年に車両更新されています。

問3答:リス、キツネ、鹿

それぞれ東山小、石崎小、南茅部と恵山でみかけました。

問4答:②

12、3年前までかけていたようです。聞覚えのある方いますでしょうか。

問5答:

A=青柳中学校

今年4月、統合により潮見中から名称が変わっています。

B=臼尻会館

6月のひろめ祭と運行日が重なる時は南茅部スポーツセンターに停車場所が変更になります。

C=北美原町会館筋向

美原図書室閉館に伴い、利用される方が増えています。
北美原ローソンの駐車場に停車しています。

問6答:HP 又は配布している

運行表でご確認ください。

お近くにお住まいの方はぜひお越しください!

スタッフ一同お待ちしております!!

おつかれ様でした!!